



かっこう

HP: <https://www.sendai-c.ed.jp/>
TEL: 022-251-7441 Fax: 022-251-7486



センターHPのここがおすすめ

教育センターホームページ上の欄から、「研究」のページを開くことができます。中でも、「教育の情報化研究委員会 web ページ」では、「学習指導要領」「教育の情報化に関する手引」「教育の情報化ビジョン」「教育の情報化ビジョン」「GIGA スクール構想」の趣旨と仙台市立学校の現状を踏まえ、情報教育、プログラミング教育、学校の情報化、ICT活用、情報モラル、情報セキュリティに係る実践研究についての報告が細かく示されています。

令和4年度の報告(リンク)

では、具体的な実例を踏まえて、取組が紹介されています。

報告1 情報教育部会
「情報活用能力の育成」のためのカリキュラム・マネジメント 実践2事例
～各教科の単元の洗い出しと授業実践～

報告2 プログラミング教育部会
「プログラミング教育」の普及を目指して 実践4事例
～各教科の実践事例の提案～

報告3 学校情報化部会
「学校の情報化」を目指して 実践3事例
～時事的問題に関する研究～

報告4 ICT 活用部会
「ICT 活用の普及」を目指して 実践4事例
～Google Workspace for Education を利用した教育活動の提案～

具体的な教育活動場面のイメージを深めることができますので、是非御覧頂き、日々の教育実践に生かしていただければと思います。

仙台市教育センターホームページ

TEL. 022-251-7441
〒983-0825 仙台市宮城野区鶴ヶ谷北一丁目19-1

トップ センター概要 研修 訪問 **研究** 学校支援 資料・様式 市内園・学校 リンク

研究 Research

仙台市教育委員会の方針・重点事項を踏まえた調査研究を行います。また、教育課題に応じた研究を行い、その成果を発信します。2023/3/3更新

調査研究

- ◇ 研究紀要「教育はいま」(1号～28号)
- ◇ 調査研究
- ◇ 杜の都のOJTガイドブック
- ◇ OJT (On-the-Job) について

教育の情報化に係る研究

- ◇ **教育の情報化研究委員会Webページ NEW**

仙台市教育センター実践研究

教育の情報化研究委員会

研究の目的・概要

「学習指導要領」「教育の情報化に関する手引」「教育の情報化ビジョン」「GIGAスクール構想」の趣旨と仙台市立学校の現状を踏まえ、情報教育、プログラミング教育、学校の情報化、ICT活用、情報モラル、情報セキュリティに係る実践研究を進める。

- 1 「学習指導要領」「教育の情報化に関する手引」「教育の情報化ビジョン」の趣旨及び小中学校の現状把握
- 2 「情報教育」「教科指導におけるICT活用」「学校の情報化」に係る、「授業づくり」、「校内研究」、「校務の効率化」に関する研究
- 3 研究成果のまとめと発表、資料提示

活動報告書(PDF)

- **令和4年度 NEW**
- 令和3年度
- 令和2年度
- 令和元年度
- 平成30年度
- 平成29年度
- 平成28年度

※教育センター発表会

報告1 「情報活用能力の育成」のためのカリキュラム・マネジメント
～情報活用能力を育成する各教科の単元の洗い出しと授業実践～

仙台市立南郷小学校 主幹教諭 工藤由加里、教諭 佐竹真人、三橋由紀子
みやぎっ子・マネジメント研修会委員 担任 藤原 其の他教員を協賛

【初等学級の取組】
・各授業においてGoogleやその他学習アプリに慣れ親しむ。1人1台端末の活用が進んだ。思いがけないタイミングでタブレットやスマートフォンを取り出した。
・個別学習やグループワークで活用。重要となる部分が多岐にわたる授業で活用し、活用を行うことができた。

【中学学級の取組】
・各授業においてGoogleやその他学習アプリに慣れ親しむ。1人1台端末の活用が進んだ。思いがけないタイミングでタブレットやスマートフォンを取り出した。
・個別学習やグループワークで活用。重要となる部分が多岐にわたる授業で活用し、活用を行うことができた。

【高学年の取組】
・各授業においてGoogleやその他学習アプリに慣れ親しむ。1人1台端末の活用が進んだ。思いがけないタイミングでタブレットやスマートフォンを取り出した。
・個別学習やグループワークで活用。重要となる部分が多岐にわたる授業で活用し、活用を行うことができた。

単元に関連する情報活用能力：(成果○)と課題(△)

○ICTの様々な端末の活用が、「活動力」の向上につながった。
○ICTの活用が、授業の活性化につながり、授業が楽しくなり、授業が受けやすくなるようになった。
○ICTの活用が、授業の活性化につながり、授業が楽しくなり、授業が受けやすくなるようになった。

△ICTの活用が、授業の活性化につながり、授業が楽しくなり、授業が受けやすくなるようになった。
△ICTの活用が、授業の活性化につながり、授業が楽しくなり、授業が受けやすくなるようになった。

東北学院大学 稲垣 光 先生

GIGA スクール構想を整備された端末だけでなく、図書などのアナログ資料の活用や、プログラミング、情報モラルなど、子どもたちが情報社会を生き抜く上で必須の資質・能力が情報活用能力です。学習指導要領では「学習の基盤となる資質・能力」の1つとして教科横断的に育成することがされています。どの学年、教科、単元で、何を育成するのかを定めた年間指導計画を各校で作成されているとします。南郷小、広瀬中では、この年間指導計画が機能しているかどうか点検し、計画を改善する方法を開発しました。ぜひ各校で参考にしていただき、カリキュラム・マネジメントの推進に役立ててみてください。